

平成30年度 第4回 軽量化研究会 聴講者募集のご案内

「炭素繊維強化プラスチックの 開発動向と自動車への適用」 —CFRTPの期待—

炭素繊維は「軽量」「高強度」「高剛性」といった特性を有し、航空宇宙分野、スポーツ分野のさまざまな製品に使用されています。今後は風力発電用回転翼など他産業や自動車への適用拡大が期待されています。

炭素繊維強化プラスチックには、既に広範囲の用途に採用されている熱硬化性樹脂をマトリックス樹脂としたCFRPと、加工性やリサイクル性の良さなどの特徴がある熱可塑性樹脂をマトリックス樹脂としたCFRTPがあります。

本年度4回目の軽量化研究会では2名の講師を迎え、炭素繊維強化プラスチックの動向と自動車への適用について解説していただきます。

また、埼玉県産学連携研究開発プロジェクトのプロジェクトメンバーの方に、新開発『水系ウレタン含浸法CFRTP』のご紹介をしていただきます。

平成31年 2月12日(火)
13:30-16:30

講演 1 「自動車のマルチマテリアル化におけるCFRPの動向と今後への期待」

【講師】日産自動車株式会社 Nissan 第三製品開発部 先行車両開発Gr
(兼)先行車両開発部 革新軽量化技術開発Gr 担当部長 熊本 隆 氏

【講演概要】

CO2規制強化や電動化に対応する軽量化技術へのニーズが高まる中で、CFRPは軽量化効果が高く将来のキー材料として自動車への採用拡大が期待される。

本講演では、自動車の軽量化動向とマルチマテリアル化におけるCFRP適用時の課題と今後の展望について解説する。

【プロフィール】

日産自動車株式会社に入社後、世界初高延性1.2GPa超ハイテン材開発をはじめ、アルミ、CFRP等の車両軽量化材料技術開発を推進。材料技術部長、車体技術開発部長を経て現職にてRenault・日産アライアンスの車両軽量化技術開発を担当。

講演 2 「CFRTPの基材開発の動向と応用」

【講師】金沢工業大学・革新複合材料研究開発センター
教授・所長・博士(工学)

鷷澤 潔 氏

【講演概要】

軽量構造と高生産／低コストの両立を目指して、CFRTP基材とその成形技術の開発が進められている。自動車分野のGF/PP-LFT材と航空機2次構造部材のCF織物から、ハイサイクル成形を可能にするスタンパブルシートや航空機主構造部材への高耐熱性樹脂CF-UDブリプレグなど、近年の開発動向について概説する。

【プロフィール】

1985年から株式会社本田技術研究所栃木研究所にて新車開発に従事。1987年から株式会社ジーエイチクラフトにて複合材料によるヨット・自動車・航空機部品等の開発試作に従事。2003年から東京大学、2012年から金沢工業大学にて複合材料の研究および産学官連携活動に従事。2013年、金工大ICC所長、現在に至る。

第4回 軽量化研究会

日時

平成31年 2月12日(火) 13:30-16:30

定員

50人(定員になり次第締め切ります)

会場へのアクセス

場所

新都心ビジネス交流プラザ 4階会議室C
さいたま市中央区上落合2-3-2

参加費

自動車産業部会会員 無料
公社会員 1,000円
上記以外(一般) 2,000円
(消費税込、当日現金でお支払下さい)

新都心ビジネス交流プラザ

北与野駅から徒歩1分
さいたま新都心駅から
歩行者デッキで
北与野駅まで徒歩7分



お申込み

Webからのお申込み: <http://www.saitama-j.or.jp/jidosha/?p=9051/>
FAXでのお申込みは下の申込書をご利用ください

FAX申込

公益財団法人 埼玉県産業振興公社
FAX: 048-857-3921
(番号のお間違いにご注意ください)

事業所名			
住所	〒 _____		
TEL		FAX	
参加者	所属:	役職:	
	氏名:	Email:	
	所属:	役職:	
	氏名:	Email:	

個人情報の利用目的: ご提供頂きました個人情報は、次世代自動車支援センター埼玉が実施する事業のみに利用させていただきます。

※下記の□にレを付けてください。(わからない場合は「□不明」で結構です。こちらで確認いたします。
会員区分: □自動車産業部会会員(無料)、□公社会員(1,000円)、□一般(2,000円)、□不明

お問合せ

公益財団法人埼玉県産業振興公社 / 新産業振興部 / IoT・技術支援グループ
〒338-0001 さいたま市中央区上落合2-3-2 新都心ビジネス交流プラザ3階
TEL: 048-621-7051 担当 / 黒田